

オール SASEBO で未来をつくる



2月26日、3月定例市議会(会期は3月21日まで)が開かれ、宮島市長が令和7年度の施政方針や当初予算案などの提案理由を説明しました。本市まちづくりの柱となる「第7次佐世保市総合計画(後期基本計画)」や「シティブランディング・プロジェクト」における分野ごとの取り組みなどの概要を抜粋、要約してお知らせします。詳しくは市ホームページをご覧ください。

おとし4月の市長選挙において、市民の皆さまから温かいご信託を賜り、市政運営のかじ取り役を担わせていただいておりますが、早くも折り返しの2年が経過しようとしております。

令和6年度を振り返りますと、4月には行政運営を行うに当たっての指針である「第7次総合計画(後期基本計画)」をスタートさせました。

この計画は、「つながる想い ともに創る SASEBO」をキャッチフレーズとして、「市民一人ひとりが、『まちのありべき姿』を共に語り、『まちの未来』を共に描きながら、SASEBOの新時代を創っていききたい」という思いをもとに、市の将来を見据えたまちづくりの方向性を示したものです。

本市の最重要課題「人口減少対策」の要である、子育て支援・教育の充実に重点的に取り組むため、「ひと分野」を最上位に位置付けるとともに、この計画に基づき、「選ばれるまち SASEBO」となるため、「子育て」「産業」「地域資

源」「文化」を4つの柱とする「シティブランディング・プロジェクト」を始動させました。

令和7年度は、市長任期3年目の折り返しの時期に当たる年となりますが、佐世保の将来を見据え、「いま私たちにできることは何なのか」「いま私たちがすべきことは何なのか」を常に考え、一つ一つ丁寧に課題を解決し、市民の幸せを創造していくことが必要であると強く自覚しております。

今後も、行政施策を幅広く展開していくとともに、地域を構成するさまざまな主体が協議・協力しながら「まち」をつくっていく、いわゆる「オール SASEBO」の体制をつくりながら、「次の一歩」に向け、さらなる市政発展のためにまい進してまいります。

我が国では、今後の経済成長が期待される一方で、人口減少・少子高齢化に歯止めがかからない中、労働力不足を含めた経済活動の縮小化、社会保障制度の持続可能性などが懸念されてい

ます。また、エネルギー、食料品価格等の物価高騰、気候変動等による自然災害の激甚化・頻発化など、さまざまな課題を抱えています。

本市においては、経済面で緩やかに回復が進んでいる状況ではあるものの、市内企業における人手不足などの課題や、原材料およびエネルギー価格の高止まりに伴う物価高騰が地域経済へ影響を与えており、国の補正予算に連動した「物価高克服に向けた追加策」についても、適時、適切に対策を講じてまいりました。

また、転出者数が転入者数を上回る「転出超過」が依然として続く中、人口減少が加速している現状を踏まえると、これまでの延長線上の対策だけでは時代の変化に対応できないとの危機感を持ち、10年後、20年後を見据えた本市ならではの人口減少対策を行っていくことが急務であると考えております。

シティブランディング・プロジェクト

本市の最重要課題である「人口減少対策」について、まずは、人口減少のスピードを緩和させ、最終的に人口を安定化させること、そして、現在より小さい人口規模となっても豊かで持続可能な都市を構築していくこと、この2つの取り組みを一体的に推進することで、将来世代へ誇れるまちを残していけるのではないかと考えています。

「選ばれるまち SASEBO」となるためには、市民の皆さまにとって、佐世保が暮らしやすいまちであることを実感していただくことが重要です。暮らしやすさが高まることで、転出超過の抑制や出生数の増加にもつながっていきます。それによってにぎわいが創出され、まちの魅力が向上し、魅力に引き付けられた市外の方々の移住の流れが促進されることで、まち全体が活性化していくといった好循環が生み出されると考えております。

まちの魅力の磨き上げやシビックプライドの醸成、市の魅力度・認知度向上など、まちのブランディングを図りながら、市民の皆さまからは「住み続けたい」、市外の皆さまからは「住んでみたい」「訪れてみたい」と感じてもらえるような、まちづくりを進めていく。これが「シティブランディング・プロジェクト」です。

SASEBOの未来のために必要なものを市民の皆さまと共に関心、みんなの力で SASEBOの未来を変えるような取り組みを行ってまいります。

子育て こども・子育て支援プログラム

「安心して妊娠・出産・子育てができる支援が充実しているまち」を目指し、子育て世代などの経済的な不安を軽減させ、子育てに対する意欲を高めてまいります。また、共働き世帯が増えて

いる中、家族・職場・地域など、社会全体で子育てをすべきものという意識の醸成に努めてまいります。

産業 グローカル産業育成プログラム

「活気が溢れ、自分らしい仕事ができるまち」の実現を目指し、佐世保の産業を維持・活性化させていくために、佐世保商工会議所や佐世保工業会、産業支援の関係機関と共に、有識者からの意見も伺いながら、「オール SASEBO」の体制で地場産業の高度化や新たな産業の創出に努めてまいります。

また、「基地を活かしたまちづくり」の視点から、防衛産業等の実態や基地の所在効果に関する調査を実施するとともに、艦船修繕を中心とした造船産業の拡大など、行政と民間が連携しながら市内経済の活性化につなげてまいります。

地域資源 オンリーワン価値創造プログラム

「世界に誇る九十九島やハウステンボスを中心として誰もが集いたくなるまち」を実現するため、ハウステンボス・九十九島の二大観光拠点を柱に、日本遺産など本市独自の観光資源を活用しながら、市内周遊・滞在を促進し、観光消費額の向上を目指してまいります。

文化 シビックプライド醸成プログラム

「若者の活躍を応援し、若者の夢を実現するまち」を目指し、実現したい夢や企画を持つ若者とそれを支える市内外の支援者をつなげることで、若者が活躍し、支援者が若者を応援したくなるような仕組みや場所・機会を創出してまいります。また、「文化やスポーツで市民が活躍できるまち」を実現するため、活力や生きがいを育むイベントを実施するなど、誰もが多様な文化やス

ポーツに親しめる環境づくりを目指してまいります。

シティブランディング・プロジェクトと一体的に推進する取り組み

今後も想定される本市の人口減少下にあっても、持続可能なまちを構築していくことが必要です。

特に、都市核、地域核などにおける「都市形成」、それを支える「公共交通」や「インフラ」は欠かすことができない要素であり、人口減少対策であるシティブランディング・プロジェクトとの一体的な推進を図ってまいります。

また、長崎県が取り組む県北振興策や西九州させぼ広域都市圏ビジョンへ、シティブランディング・プロジェクトの対象事業を盛り込むなど、県北地域の中心市、広域都市圏の中核都市として、行政間連携、官民連携による取り組みを推進することで県北地域、広域都市圏にも効果を波及させてまいります。

今後も、市民の皆さまの目線を大事にしつつ、さらに対話を重ね、佐世保の暮らしと経済がますます発展していくよう、未来をつくる次の一歩を力強く踏み出し、全力を挙げて進んでまいります。

次のページ以降では、総合計画(後期基本計画)やシティブランディング・プロジェクトの各分野の主な取り組みなどを紹介します。



施政方針



総合計画



当初予算



弓張岳展望台から望む佐世保市街地